

令和3年度
安全報告書



令和4年9月 報告

 大井川鐵道株式会社

1. ごあいさつ

平素は大井川鐵道をご利用いただきまして誠に有難うございます。
また、当社事業につきまして日頃よりご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

大井川鐵道は、お客様に安全な輸送サービスを提供するために、現場から経営トップまでが一丸となって安全意識・技術の向上に努め「安全・安心」を基本に地域に根ざした交通事業の提供に努めてまいりました。

令和3年度は大井川鐵道グループの安全方針とサービス改善に関する方針の統一を行い、「重大事故ゼロ」の継続を致しました。

今後も、これまで以上に安全運行に関しての取り組みの強化を行いながら、より快適にご利用いただけるよう総合交通サービス業としてさらなる努力をしてまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、大井川鐵道における輸送の安全確保への取り組みや事故等の発生状況と再発防止策についてまとめたもので、皆さまに広くご理解をいただく為に作成いたしました。

ご利用になる全てのお客様と沿線にお住いの方々にご理解をいただくと共に、皆さまの声を今後の安全輸送に役立てたいと考えております。

ご覧いただく中で、皆さまからのご意見を頂戴できれば幸いです。



大井川鐵道株式会社
代表取締役社長 鈴木 肇

2. 基本方針と安全目標

1. 基本方針

当社は、安全第一の意識をもって輸送の安全を確保するための管理の方針、その他事業活動に関する基本的な方針を定め、安全の確保に関する業務の実施状況等を踏まえ、必要に応じて見直します。

なお、次のように「行動規範」を掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり推測に頼らず、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に努めます。

2. 安全目標

「鉄道運転事故ゼロ」の継続



3. 令和3年度 安全重点施策

安全性向上および安全目標を達成するため、安全管理規程に基づいて策定した令和3年度安全重点施策を以下のように取り組みました。

- ・労働災害軽減指導の実施

安全衛生委員会実施時等に注意喚起を行うと共に労働災害防止対策についての検討を行いました。令和4年度も労働災害軽減の為の指導を強化いたします。

- ・設備投資計画の実施

計画は予定どおり完了いたしました。令和4年度も継続して計画に従って実施をしております。

- ・ヒヤリハット報告の環境づくり

毎月開催する鉄道管理会議において各職場からの聴き取り調査を行い、安全衛生委員会にてヒヤリハット事象の有無や、その内容報告と再発防止策を検討しました。令和4年度も職場長から報告を受けたヒヤリハットの内容を踏まえ、安全衛生委員会でその内容を再度確認し、労働災害につながる可能性や日頃の注意点等を検討しております。

- ・駅構内入換作業前の運転士と操車係との連絡打合せの徹底

車両の入換作業についての教育が行き届いていなかったため、入換訓練を実施いたしました。運転士は入換作業前に必ず入換作業通告券に記載してある入換手順の把握、遵守、操車係の適切な位置取りでの合図、相互の綿密な打ち合わせを徹底し、安全確保のため細心の注意を払い事故防止に努めてまいります。

- ・年3回の出庫点検立会いと列車添乗指導

点呼執行者又は教導運転士が発車前の出庫点検と列車運転台添乗指導を行い、点検箇所での操作、確認事項、列車運転時の指差確認喚呼、速度、ブレーキの基本操作の徹底が適切になされているか見極め、安全運行に努めています。

- ・接客サービスの向上

お客様から接客に関する対応が不親切とお叱りを受けたことがありました。今後は接客サービスについての接客接遇研修を行い、お客様視点を意識した接客ができるよう努めてまいります。

- ・新型コロナウイルスの感染防止の徹底
マスク着用、手洗い、うがい、検温の励行に取り組み、従業員の感染はありませんでした。引き続き令和4年度も感染防止の徹底に努めてまいります。
- ・旅客の安全な誘導案内の完全実施
駅構内放送にて、車両とホームに隙間があり乗降の際は気をつけるよう注意喚起し、ホームから転落する人はゼロで、お客様を安全に誘導することができました。令和4年度も、構内放送を活用し、注意喚起を促すことにより、お客様に事故やけがの無いように努めてまいります。
- ・転轍機の取り扱いの厳正
入換訓練を行ったことにより、作業時の転轍機の基本動作を徹底したため、異線進入、割り出しはなく、無事故で終えることができました。
令和4年度も引き続き基本動作を徹底し、この重点施策を励行してまいります。
- ・閉そく取り扱いの適切
常用閉そく方式が施行できない事態が発生した際、代用閉そくを施行し、指導券、指導票の取り扱い、関係部署への連絡等、適切に行うことができました。
- ・車両故障の低減
本線車両区は注意箇所を把握し整備を行いました。車両故障件数12件で前年より4件増でした。この結果を生かしていくために日々の点検を徹底し、車両故障の低減に努めてまいります。また、井川線車両区は輸送障害による車両故障はゼロでこれを継続していくために、故障を未然に防ぐための入念な点検、老朽箇所の点検強化に努めてまいります。
- ・施設故障(信号、踏切等)の低減
雷によるものが3件、経年劣化が3件ありました。経年劣化している部品については取替更新し、施設故障の低減に努めてまいります。
- ・線路巡視および落石倒木等危険個所の点検強化
落石、倒木においては、気候変動による豪雨災害が年々増えてきており、昨年度より12件増でした。今後は危険箇所の点検を強化し、雑木の伐採、落石防止柵の設置等、未然に防止する対策を積極的に行ない低減に努めてまいります。

4. 令和3年度事故等の発生件数

1. 鉄道運転事故

本線	1件
井川線	0件

2. 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

本線	設備故障(信号、線路)	1件
	自然災害(倒木、落石、崩土)	10件
	車両故障	4件
井川線	設備故障(信号、線路)	0件
	自然災害(倒木、落石、崩土)	4件
	車両故障	0件

主な輸送障害

- 2021.05.05 落雷による車両故障
- 2021.05.08 踏切内に進入した軽トラックが電車と接触。軽トラック運転手軽傷
- 2021.06.04 落石による線路支障
- 2021.07.03 大雨による線路内土砂流入
- 2021.09.03 倒木による線路支障

3. インシデント（事故の兆候）

本線	0件
井川線	0件

5. 新型コロナウイルス感染症対策

感染防止対策として、駅改札口での検温消毒器、ワンマン列車の運転席と客室の間に飛沫防止のためのビニールカーテンを設置、窓が開閉可能な車両は一部の窓を開けることにより換気をはかっています。

また、現在運用している全車両の座席、つり革、窓に抗ウイルス、抗菌加工を実施いたしました。



6. 輸送の安全確保のための取組み

輸送の安全確保のために、下記の安全対策を行いました。

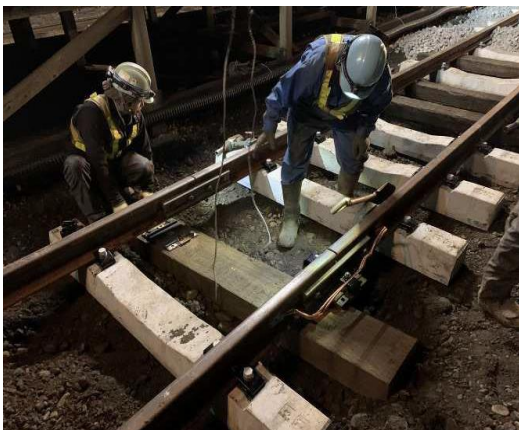
1. 整備事業等の実施

【大井川本線】

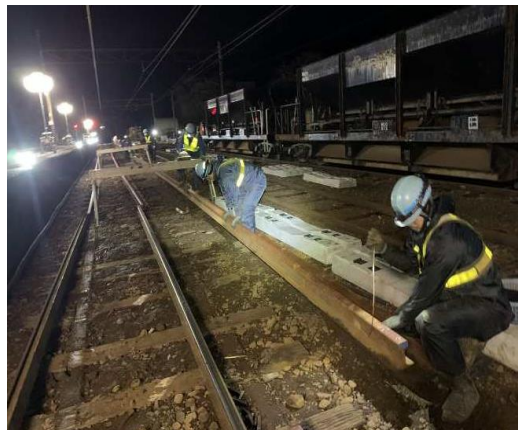
- ・ P C 枕木更換 (福用駅～大和田駅)
(大和田駅～家山駅)
(下泉駅～田野口駅)
(青部駅～千頭駅)
- ・ 道床更換 (大和田駅～家山駅)
- ・ 線路重軌条化 (大和田駅～家山駅)
- ・ 分岐器更換 (家山駅構内)
- ・ 電車用鹿ソニック(鹿除け)設置

【井川線】

- ・ 落石防護網設置工事
- ・ 川根両国駅信号制御リレー取替
- ・ 信号接近制御子取替
- ・ 客車スロフ318改修工事



P C 枕木更換



線路重軌条化



鹿ソニック(鹿除け)



客車スロフ318改修工事

2. 経営幹部による職場巡視

年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施期間中に、会社幹部による各職場の巡視を行い、安全輸送に関する訓示を行うとともに、職員への安全意識の高揚に努めました。



3. 鉄道管理会議の実施

毎月1回、運輸部門、施設部門、営業部門合同による作業計画、営業計画の確認を行い、相互の連携を図っています。

特に繁忙期の前やイベント等の計画時には、輸送の安全に留意して綿密に打ち合わせを行っております。

4. 訓練

令和3年度は、各部署ごとに教育訓練を実施いたしました。



転轍機の取扱方



入換訓練

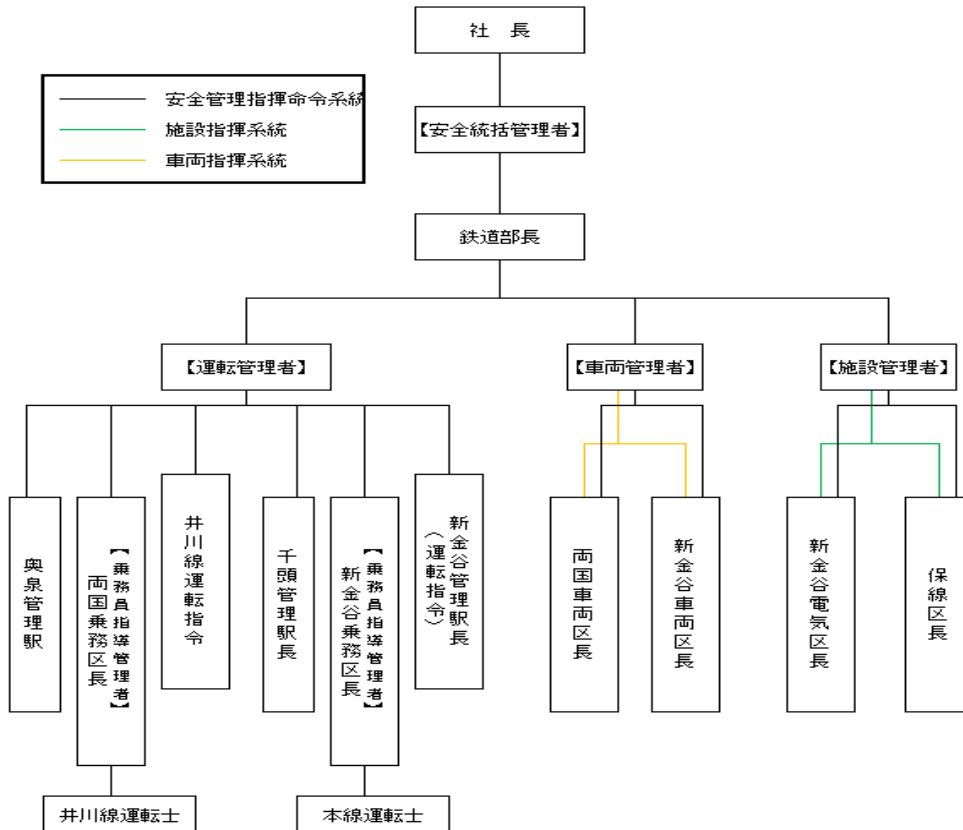
5. 安全のための投資

令和3年度の施設・車両などへの安全関連設備投資額は、265,994千円でした。

7. 当社の安全管理体制

平成18年10月に安全管理規定を策定し、令和2年4月に改訂をおこない、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で各管理者それぞれの責務を明確にし、安全確保のための役割を担っています。

役 職	役 割
社 長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄 道 部 長	輸送の安全の確保に関する業務全体を管理する。
運 輸 課 長 【運 転 管 理 者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
新金谷乗務区長および 両国乗務区長 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、所属する乗務員の資質の維持に関する事項を管理する。
施 設 課 長 【施 設 管 理 者】	安全統括管理者の指揮の下、土木施設および電気施設に関する事項を統括する。
車 両 課 長 【車 両 管 理 者】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。



8. 沿線の皆様へのお願い

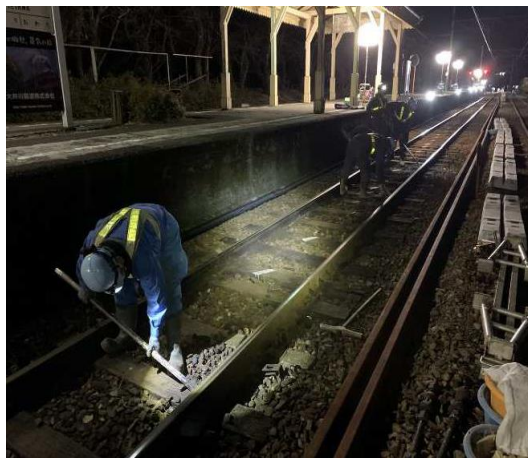
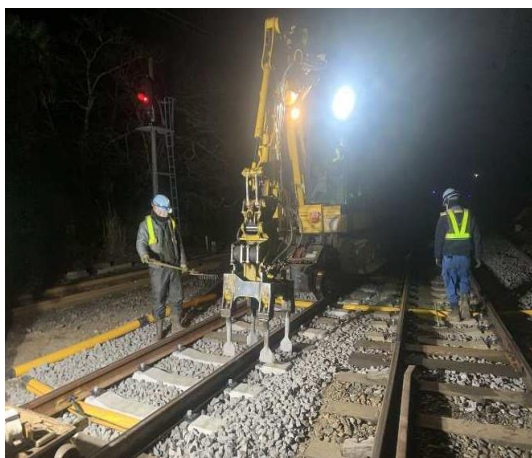
1. 踏切事故防止について



春・秋に実施した交通安全運動の一環として、新金谷駅にて、のぼりを掲出しました。踏切では必ず一旦停止して左右の安全を確かめてください。また、警報機が鳴ったら踏切内に入らないでください。万が一、車が踏切内に閉じ込められたときは、車で遮断竿を押して脱出してください。

踏切およびその付近で異常を発見した場合は、お手数ですが警報機に取り付けてあります緊急連絡先まで、ご連絡下さいますようお願いいたします。

2. 夜間作業のお願いについて



鉄道工事は、安全を確保するために夜間作業となることがあります。沿線の皆様にはご迷惑をおかけすることがございますが、可能な限り静かに、短期間に行うよう努めてまいります。何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

9. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒428-8503 静岡県島田市金谷東2丁目1112番地の2

大井川鐵道株式会社 鐵道部

- ・電話 0547-45-4113
- ・FAX 0547-45-4115
(月～金 9:00～17:00、年末年始を除く)
- ・メール unyu@oigawa-railway.co.jp
- ・Web サイト <http://oigawa-railway.co.jp/>

